

生徒の皆さんへ（学校再開に向けて）

最初に、この度の新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された方々にお見舞いを申し上げます。

さて、さわやかな初夏の風が感じられる季節になりました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全ての府立学校は、5月31日まで臨時休業となっていました。京都府の緩和判断基準に基づく休業要請の段階的緩和を受け、丹後・中丹通学圏においては、来週5月25日から学校を再開することとなりました。他の地域は6月1日からの再開予定となっています。間人分校においても、先週は1日、今週は2日間の登校日を設け、学校再開に向けた段階的な取組を進めてきました。

臨時休業期間中は、教職員も学校と在宅のローテーション勤務となる中、学習課題や電話による面談、学校HPを通じた連絡や教職員メッセージの配信などの取組を行ってきました。また、クラウドサービスの活用等、ICTを活用した学習支援にも取り組んでいます。

この間、生徒の皆さんは、様々な不安を感じながらの生活だったと思いますが、一方では、生徒信条「青年は未来を信じ使命に生きる」の言葉どおり、規律ある生活を送ってくれた、とも思っています。

いよいよ来週から学校再開となりますが、これからの感染状況等によっては、再度の休業ということも考えなくてはなりません。引き続き、検温などの健康観察をはじめ、咳エチケットの励行、マスクの着用、こまめな手洗い、近距離や正面での会話の回避など、いわゆる「新しい生活様式」を確立し、新型コロナウイルス感染症の防止に努めてください。また、誤った情報や認識に基づく、不当な差別、いじめ、SNSでの誹謗中傷等は重大な人権侵害となります。憶測やデマに惑わされず、冷静に行動するとともに、誰もが安心して学校生活を送れるよう、人権を大切にされた行動をしていきましょう。部活動は、6月1日から条件付きでの開始を予定しています。心配なことはどんなことでも学校に相談をしてください。

今後、皆さんの学習保障や学力の定着に向けては、長期休業期間の短縮による授業時間数の確保や補習・学習課題などによる支援を考えています。学校再開にあたり、今一度、皆さん自身の夢・目標を確認し、その実現に向けて、これからも一日一日を大切に送ってください。

最後に、学校HPでの校長メッセージにも書いた「思えば強し」という言葉を皆さんに贈ります。「強い思いは、自ずと行動を生み、必ず実現する」というものです。

それでは、しっかりと前を向いて頑張ってください。

令和2年5月22日

校長 大村 孝志